

長鯨丸(ちょうげいまる)
は、明治3年、亙理から
の第1回移民団250名
を乗せ、新天地を目指
して船出しました。

長鯨丸

伊達市立東小学校
コミュニティスクール通信
第1号
令和3年5月31日
発行

令和3年5月24日(月)に、第1回学校運営協議会を開催しました。今回は、今年度の学校経営の重点やコロナ禍での教育活動等について、質疑、意見交換がなされました。主な協議・報告は次の通りです。

1 学校の取組等にかかわって

学校から、学校経営や学力・体力向上、ICTを活用した学習活動の様子などについての説明がありました。その中から、いくつかの話題で質問や意見が交わされました。

- ・タブレットの活用が始まり、子ども達が活用していることが伝わってきた。実際に休業になり、家庭で使う場合、環境が整っていない家庭の子どもが取り残されないかが心配。環境整備もしっかり進めていくことで子どもの学びの保証に繋がっていくので、その部分でもきちんと進めていくことが大切。
- ・コロナで我慢が強られる中、子ども達の中でトラブルやいじめ等がないか心配。ICT活用により、子ども間のメールのやりとりにより、いじめ等のきっかけになることもある。このような状況で大人も子どもも余裕がない中ではあるが、しっかり子ども達を見ていかなければならない。学校でもアンテナを広げて子ども達をしっかり見ていくようお願いしたい。
- ・ボランティアで草の除去や花を生けてくれる方がいるのはありがたいこと。草は、少しでも多い人数で行えば能率が上がる。実際にその様な取組を行うことができるのではないかと。学校の環境を整備していくことは大事なこと。⇒5/30実施

他に、運動会や稀府小との交流、携帯電話の所持などについても意見交換がなされました。



2 統合に係る報告

稀府小との統合に向けたスクールバス運行に係り、委員から次のような報告がありました。

- ・黄金地区バスに稀府地区の子ども達が乗るのでは、黄金地区の子ども達の乗車時間が長くなり、子ども達への負担が気になる。稀府地区と黄金地区、別々のバスの運行と統合に向けた話し合いに黄金地区の地域の方にも入ってもらえるよう、市教委に要望してきました。来年度の統合に向けて、校区が広がります。今後も様々な視点で、子ども達のことを考えていくことが確認されました。

学校運営協議会の皆様のご紹介

会長	堤	厚	様			
委員	掃部	一夫	様	高橋	達夫	様
	袖田	浩司	様	横田	正道	様
	島崎	由裕	様	菊地	勝治	様
	西條	晴彦	様	野村	陽基	様
	高木	寿典	様	森	信幸	様
	管澤	秀信	校長			

学校運営協議会(コミュニティスクール)を中核として、地域・保護者の皆様と共に教育活動を行い、東小学校の子ども達がより良く育ち、社会に出たときの「生きる力」を身に付けさせることができるよう取組を進めていきます。今年度も皆様のご理解ご参画をお願いいたします。